

アコースティック カメラ 音源探査の世界標準システム



アコースティックカメラはドイツの研究開発財団Gfaiにより開発されたビームフォーミング方式アレータイプの音源探査システムです。欧米はもとより国内でも音源探査の標準システムとして自動車業界を中心に幅広く認知されています。*1



ノイズイメージソフトウェアとハードウェアの進化

音圧レベルの異なる複数の音源を、同時もしくは順次に特定できるイレーザ機能（従ってダイナミックレンジに制限はありません）や心理音響とリンクさせた音源解析などさらに進化しました。また新たに開発された近接タイプアレーによりビームフォーミングが苦手とした低周波領域もカバーされました。

アコースティックカメラの特長 他社システムと異なる 3 つのポイント

1. 空間分解能が異なります

アコースティックカメラの音源はピンポイントでカラーマッピング表示されます。（一般的によく見受けられる「ぼやっ」とした表示では当然正確な音源解析はできません）*2

2. 時間分解能が異なります

アレータイプもしくは非アレータイプによらず定常音の音源特定は可能です。しかし突発的な異音や偶発的なパルス音など単発的に発生する非常音に追従する為にはアレータイプでなおかつ非常に高いサンプリング周波数が必要となります。

アコースティックカメラはマイクロ秒単位の時間分解能を有します。

3. 操作性が異なります

アコースティックカメラは全てのユーザが簡単に迅速に測定と解析が行えるように設計されています。短時間のセッティング、ノーステップでの音源画像作成、リアルタイム解析など、複雑面倒な操作を必要とせず本来成すべき開発、品質向上の業務へ集中することが可能です。また様々な測定信号を同期入力できるので例えば任意の時間でのエンジン回転数やクランクシャフトの回転角度と音源の関係が特定できます。このようにいろいろな測定指標と音源を複合的に解析することもアコースティックカメラの大きな特長の一つでありプロのエンジニアのハイレベルな要求を満たします。



補注 *1 *2 本記載内容は弊社及び gfaitech (Gfai グループ) の見解であり公的なものではありません。

納入実績 (敬称略)

●マツダ ●キャノン ●スズキ ●ソニー ●トヨタ ●日立
●デンソー ●キャタピラ その他多数

音源探査セミナー開催のお知らせ

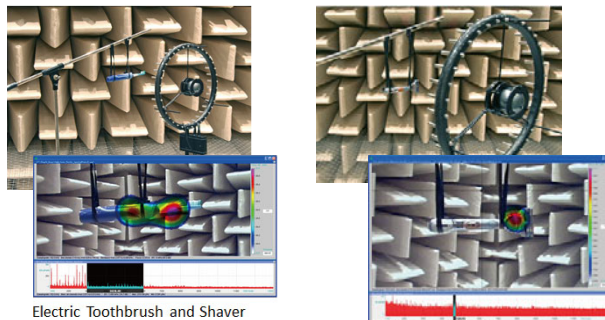
新しいアコースティックカメラの発表を兼ねて、音源探査セミナーを開催致します。参加ご希望の皆様は弊社へお問い合わせ下さい。

【主催】 SV ジャパン gfaitech 社
【日時】 10月15日(火) 13:00 ~ 16:00 一般参加者向け
10月16日(水) 12:00 ~ 16:30 ユーザ参加者向け

【場所】 東京
【内容】 15日(火) 音源探査の基本 ワークショップ
16日(水) 入門編、基本編、応用編

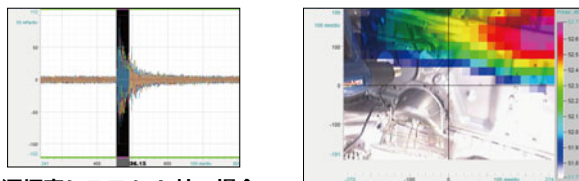
【参加費】 無料

音源探査例 小型サンプルの解析



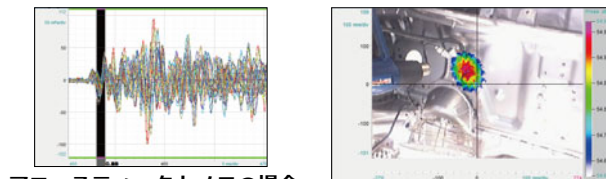
電気歯ブラシの音源がピンポイントで特定されます。

音源探査例 打音の音源解析例



音源探査システム A 社の場合

解析範囲対象範囲が数十秒となり時間分解能も空間分解能も不十分です。発音直後の音源が明示されており打音の特定ができません。



アコースティックカメラの場合

起音源を特定する為には解析範囲を出だしの数ミリ秒以下で解析。真の音源であるシリンダー部を特定。



音質評価、捻り振動、高性能騒音振動計測システムもお任せ下さい

株式会社 SVジャパン

お問い合わせ先 〒107-0062 東京都港区南青山 1-26-16 5F
TEL.03-5771-8055 FAX.03-5771-8066
東京オフィス 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-28 パシフィック乃木坂
URL : www.svjapan.co.jp E-mail : info@svjapan.co.jp